

## 企画

**問** 県は空港周辺9市町を一体とした国家戦略特区の指定の提案を行った。匝瑳市も空港周辺自治体に入る努力をしてはどうか。

**答** 「市長」本市を対象地域に加えていただけるよう、引き続き、県及び関係機関等に働きかけをしていきたい。

**問** 空港周辺自治体に入るため、成田国際空港株式会社に直訴したと聞いたが、何回くらい、どのような形でお願ひに行ったのか。

**答** 「企画課長」平成23年9月に、市長が伺い要望している。

## 健康福祉

**問** 公共施設の利用料について、今まで利用していたグラウンドゴルフ、少年野球等の施設利用料が上がると聞いているが、健康増進、介護予防、児童の健全育成のため、利用料を変更すべきではないと考えるが。

**答** 「市長」減免基準の不均衡を解消するため見直しを行った。ご理解をお願いしたい。

「生涯学習課長」さざんか広場におけるグラウンドゴルフの利用については、前と同じく免除となる。

## 産業

**問** 冬に鳥インフルエンザが発生するかもわからない。予防対策の強化について、市長の決意と意見を伺う。

**答** 「市長」条例にあった形で営業をしてみたいと願うところである。

**問** 匝瑳市松山、山武市の施設において殺処分した鳥の焼却に協力してくれただが、銚子市長は新しい3市の焼却場は、地元了承と風評被害対策をしないと、焼却はできないと新聞報道されたが、副管理者としての意見を伺う。

**答** 「市長」3市長で十分検討して対処していきたい。

**問** 家畜保健衛生所について、私は、県施設が来ることは基本的には賛成の立場である。県に対して、関係者及び地元住民に対する懇切丁寧な説明を、また、広域的な説明を行うよう、伝えてほしい。

また、アクセス道路の整備、津波避難タワーの役目や台風等の時、停電対応のできる避難施設となること、小・中学生の施設見学の実施、産業祭的なイベントの開催などを県に申し入れていただきたい。

家畜伝染病についての質問で申し上げたが、検体焼却を別の施設で行うことも要望する。

また、事業の状況についても伺う。

**答** 「産業振興課長」要望については、県に伝える。

今年度の事業は実施設計、解体設計、地質調査が計画されており、事業費は1億1,879万8,000円の予算措置がされている。

## 企画

**問** 県は空港周辺9市町を一体とした国家戦略特区の指定の提案を行った。匝瑳市も空港周辺自治体に入る努力をしてはどうか。

**答** 「市長」本市を対象地域に加えていただけるよう、引き続き、県及び関係機関等に働きかけをしていきたい。

**問** 空港周辺自治体に入るため、成田国際空港株式会社に直訴したと聞いたが、何回くらい、どのような形でお願ひに行ったのか。

**答** 「企画課長」平成23年9月に、市長が伺い要望している。

## 健康福祉

**問** 公共施設の利用料について、今まで利用していたグラウンドゴルフ、少年野球等の施設利用料が上がると聞いているが、健康増進、介護予防、児童の健全育成のため、利用料を変更すべきではないと考えるが。

**答** 「市長」減免基準の不均衡を解消するため見直しを行った。ご理解をお願いしたい。

「生涯学習課長」さざんか広場におけるグラウンドゴルフの利用については、前と同じく免除となる。

## 産業

**問** 冬に鳥インフルエンザが発生するかもわからない。予防対策の強化について、市長の決意と意見を伺う。

**答** 「市長」条例にあった形で営業をしてみたいと願うところである。

**問** 匝瑳市松山、山武市の施設において殺処分した鳥の焼却に協力してくれただが、銚子市長は新しい3市の焼却場は、地元了承と風評被害対策をしないと、焼却はできないと新聞報道されたが、副管理者としての意見を伺う。

**答** 「市長」3市長で十分検討して対処していきたい。

**問** 家畜保健衛生所について、私は、県施設が来ることは基本的には賛成の立場である。県に対して、関係者及び地元住民に対する懇切丁寧な説明を、また、広域的な説明を行うよう、伝えてほしい。

また、アクセス道路の整備、津波避難タワーの役目や台風等の時、停電対応のできる避難施設となること、小・中学生の施設見学の実施、産業祭的なイベントの開催などを県に申し入れていただきたい。

家畜伝染病についての質問で申し上げたが、検体焼却を別の施設で行うことも要望する。

また、事業の状況についても伺う。

**答** 「産業振興課長」要望については、県に伝える。

今年度の事業は実施設計、解体設計、地質調査が計画されており、事業費は1億1,879万8,000円の予算措置がされている。



武田光由議員 (公明党)

## 子育て支援

**問** 乳児の9か月から10か月健診の導入について伺う。

**答** 「市長」本市では、対象の保護者へ案内し、希望者に個別健診を実施している。この時期の健診は、乳児の健康状況や赤ちゃんの特徴に合わせた保護者の関わり方を学ぶ機会としても重要であると考えている。

現在、妊娠の届出時と4か月健診時に周知を行っているが、今後はより多くの人に受けていただけるよう努めていく。

## 福祉 (若者支援)

**問** ヤングケアラーについて、本市の現状に対する把握及び対応状況を伺う。

**答** 「市長」匝瑳市要保護児童対策地域協議会(以下「協議会」という。)において、ヤングケアラーをはじめとする要保護児童ケースについて協議を行っている。

ヤングケアラーは、福祉、介護、医療、教育等といった様々な分野が連携し、早期に発見することが重要であることから、協議会から関係機関に、情報提供による早期発見、早期支援及び見守りをお願いしているところである。

今後も引き続き、関係機関との連携を強化していきたい。

## 教育

**問** 学校として、HSC(※)への配慮について伺う。

※ HSC (Highly Sensitive Child) とは、非常に感受性が強く、繊細な気質を持った子どもを意味する心理学上の概念。

**答** 「教育長」毎年、次年度の就学に向け市内全ての幼稚園、保育所・園こども園、小・中・高等学校へ特別支援教育コーディネーターを伴って施設訪問を行い、特別な支援が必要な幼児、児童生徒との日々の関わり方などについて、専門的な見地から意見を伺う機会を設けている。

特に、就学前の幼児に関しては、関係課や関係機関と連携し、小学校入学に向けた就学相談を行っている。入学後も、特別な支援を要する児童生徒個々の具体的な対応や現状等について、職員の間で共通理解を図っている。

**問** ICTを活用した不登校児童生徒への学習支援について伺う。

**答** 「教育長」プログラミング教育による情報活用能力の育成や、学習や行動の記録を蓄積し振り返りに活用していきたい。

また、児童生徒の習熟度に合わせた学習支援ソフトが導入されており、より意欲を高められると考えている。今後、さらに工夫、改善をしていきたい。